

O.S.P



{ OSPREY / SPIRITUAL / PERFORMER }

VOL.14
October

無料

ご自由にお取りください

Keep it on the down low!!

—並木敏成が語るあのルアーの真実—
～O.S.Pジグ03ハンツ～

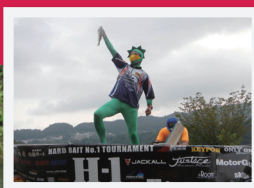
O.S.P
動画

…▽…
随時更新!!

TOPICS

オリキン、H-1グランプリ

年間優勝!!



The Field Guide

O.S.Pプロスタッフがホームレイクを徹底紙上ガイド

～浦川正則@旧吉野川～

腕利きプロスタッフが明かす必須ルアー

二羽の鶉の眼

二人のプロガイドが的確アドバイス!!
松村 寛 / 三宅貴浩

The Kotaro's Maxims

ワーミングの極意を伝授!!

並木敏成&O.S.Pの最新情報はこちら。

並木敏成 ↓

O.S.P ↓



Journal

THE KOTARO'S MAXIMS



ドライブクローラーのスナッグレスネコリグ。これは光太郎にとって絶大な信頼を寄せる心強い存在で「これで釣れなきゃしょうがない」とまで言わしめるアイテムだ。今回はそんなドライブクローラーがテーマ。スナッグレスネコリグおよびジグヘッドワッキーで、休日のカスミ水系をものもしない2桁釣果を記録!! ハイプレッシャー上等! ドライブクローラーでいざ、勝負!!

ワーミングの極意を伝授!!

サスペンドバスに強いジグヘッドワッキー

「ドライブクローラーってジグヘッドワッキーの印象が薄い。ヘッドとテールが近い形状のものの方がやりやすいイメージがありますがそんな。でも、まったく問題ない。ネコリグはシンカーが入っているヘッド側から真下に落ちるのに対して、ジグヘッドワッキーはジグヘッドを支点にボディ全体で水を受けながら、水平姿勢で落ちていく。同じウエイトだったら断然、ジグヘッドワッキーの方がゆっくり落ちます。したがってサスペンドバスの攻略にうってつけ。なのでネコリグとはフォールのスピード感やバスへの見せ方で使い分けたいと思います」



水深がある杭などでは、ゆっくりくねくね動きながら落ちるジグヘッドワッキーが◎。護岸沿いを水平に引くときは、ボディ全体に抵抗を受けるため、ネコリグよりも移動距離を抑えた誘いが可能だ



ラインを動かしすぎないシェイクでアピール

「週末のカスミ水系のような人気の釣り場では、ラインをバシバシ揺らすようなシェイクは禁物。特に今回はベイトフィネスの10lbという、やや太めのラインを使っているんで、その点には非常に気を遣います。しかしドライブクローラーは軽いシェイクでもよく動くので、その特徴を生かしてやったほうがいい。例えばジャークベイトでも強くジャークしないと動かないものよりは、軽く叩いてキレのある動きをするほうがいい。それと理屈は同じ。バスに警戒心を極力与えることなくいい動きを出せるのがドライブクローラーです。緩めたラインを張る程度のシェイクでも、十分誘ってくれますよ」



ガード付きのジグヘッドでカバー絡みのスポットを攻めることも考え、ラインは10lbをチョイス。軽いシェイクでもドライブクローラーはよく動くので、バスに余計なプレッシャーを与えないよう注意



扁平面が水を受けようにセットすること

「ジグヘッドをセットする際、気を付けたいのがワームの向き。ドライブクローラーはテールが扁平になっています。ジグヘッドが真下になって落ちるとき、この面で水を受けようにセットすることが大事です。今回、使っているのはリトルシェイカーガード(FINA)。フックの角に合わせて鋭角に刺すことで、ワームがかっちり固定されるのでワームの水中姿勢が安定し、かつジグヘッドの上下動に合わせてイキイキとクネてくれる。フックポイントを立て気味に入れたところでクツと返してやる、いわゆるV刺しでしっかり止めてやることを覚えておきましょう」

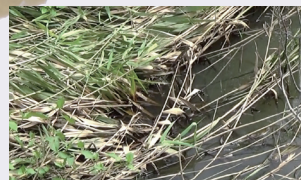


フックを刺す位置はハチマキからテール側へ数えて3本目のリングあたりが目安。V刺しでしっかり固定してやると、繊細な動きもきっちり伝えてくれる。ウエイトはこの日、1/32ozを使用していた



カバーに撃ち込んでいける最強のネコリグ

「いよいよ、スナッグレスネコリグを投入します。ジグヘッドワッキーで2匹っていうのは正直、苦戦しているんで…(朝からじっくり攻めたものの、ジグヘッドワッキーで2匹止まりだった)。倒れたアシなどが水面を覆っていますが、このわずかな隙間でもツルツルと入るのがスナッグレスネコリグの強みです。ジグヘッドワッキーは水を受けて水平姿勢でゆっくり落ちるのに対し、スナッグレスネコリグはシンカーが入っているヘッド側からすとんと真下に落ちる。この差ですね。スピード感もあるので、リアクション効果も併う。フックポイントはワームに埋め込まれているのでスナッグレス性に長け、テキサスリグのように撃てる。もちろん、オープンウォーターでもそのチカラをいかに発揮してくれます!」



写真のようなカバーの上に乗ったとしても、ロッドをちょこちょこ動かしてワームを動かすことで、わずかな隙間にすっと入り込む。すり抜けもよく、ガード付きのマスバリにはできない芸当だ

長く硬さがある素材では入れにくい。ドライブクローラーは柔らかくなるので入れやすい、と光太郎。この際、ハリ先はしっかりワームに埋め込むこと。しっかりフッキングすれば問題なく掛かる



シンカーが抜けにくいセット方法を教えましょう

今 回の実釣ロケを行ったのは9月に入ったばかりの土曜日。光太郎のホームグラウンドであるカスミ水系は、多くのアングラーで賑わっていた。結果から先に言うとジグヘッドワッキーで2匹、スナッグレスネコリグで8匹。そう、多くのアングラーが

「ネコリグにおいて、よくシンカーが抜けてしまうという話を耳にするんですが、ここでそれを防止する方法をお教えしましょう。シンカーを刺す前に、フックをまっすぐ刺して穴をあけてやるんです。こうすることでシンカーがまっすぐ入るだけでなく、抜けにくい。いきなりシンカーを刺すと、その太さ分の穴をあけることになります。フックであらかじめ細い穴をあけてやると、シンカーをキュッと締め付ける感じになりますよね。だから抜けにくい。またいきなりシンカーを刺しちゃうと、まっすぐ入らないことがあります。こうなるとヘッドが曲がってしまってそこに水を受けるので、フォールで不自然に回転するだけでなく、糸ヨレの原因にもなります」



フックは最初、刺したらほぼ真下に抜くこと。センターラインを目安にし、フックポイントをどこに入れるのか、フックをボディに当ててから刺してやると確実だ。ハリ先は絶対に出さないこと



シンカーはヘッドに完全に埋め込まず、やや出しておくことで着底時に「コン」と音が鳴る(ボトムに地質にもよる)。またボトムに着底したあとの倒れ込みがスローになるというメリットも

「ネコリグのとき、落とし方は大きく分けて2パターンです。ひとつはジグヘッドワッキーのときと同じで、ラインテンションを抜いた状態でストンと落とす。抵抗が少なく頭を真下にしていないネコリグは、今回使用している1.3gのネイルシンカーでもスピードを伴って落ちます。リアクション効果も狙えますね。もうひとつは覆いかぶさる草の裏でサスペンドしているバスに対し、ストンと落とさずバスの目線より上でシェイクして食わせるイメージ。中層シェイクですね。ネコリグではあまりされない誘い方なんですけど、これが意外にいいんです。中央で吊るされるワッキーセッティングゆえ、水平に近い姿勢で誘えるのがいいでしょう」



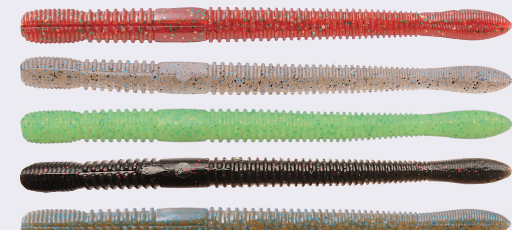
ファーストフォールでのバイトは少なかったものの、着底後1アクション、2アクションで食ってくることが多い。ここで食わずにロングシェイクしたところで食うこともまた少ないという

落とし方はリアクションと中層の2パターン



立ち並ぶ週末のカスミ水系で、2桁釣果を記録したのだ。「ドライブクローラー、特にスナッグレスネコリグはどこに行っても信用できる。そういう釣りを持っていることってすごく大事。これでバスがいる、いないが判断できる。ただし、注意しないといけないのはこれに頼り切っちゃダメってこと。他のルアーのほうが断然ストロングになる場面だってあるから」と光太郎。数もサイズも両方狙える。カバー、オープンを開かず投げられる。光太郎のようなシャローカバーを得意とするアングラーにとって、これ以上の武器はないだろう。「これだけスナッグレスネコリグが浸透しても相変わらず釣れる。ネコリグをカバーの中に入れてられるんだから、そりゃもう、最初はすごかった。今は多少こなれましたが、それでも突出して釣れます!!」

「ベースはライトスカッパノン・グリーン&コパーフレーク。好きなんですよ、赤虫みたいな色で。透明感がややありながらシルエットもそこそこ濃い。あとは透明系で大定番のゴーストシュリンプ。エビっぽくもサカナっぽくも見える。そして日没前など、まわりが暗くなったときに効くのがライムチャートの明るい系。濁っているときに使いたいの、シルエットがはっきり出るブラック系。ボクはエビミソブラックが好きですね。生っぽい黒がいい感じ。この4系統に加えて、ブルーバックシナモン。これも大好きです。これらカラーは必ず切らさないようにしています」



写真上から順にスカッパノン・グリーン&コパーフレーク、ゴーストシュリンプ、ライムチャート、エビミソブラック、そしてブルーバックシナモン。これらカラーを状況に応じて使い分けていく



しっかり掛ける、確実に獲るタックル選びが大事

「ボクはジグヘッドワッキーでもスナッグレスネコリグでも、ときにスモラバでも、カバー絡みで釣ることが多いので、ベイトタックルを選んでいます。今回はベイトフィネス仕様で、スティーズ・ウェアウルフというミディアムパワーのもの。ラインはスティーズフロロ・タイプフィネスの10lb。これで恐れることなくアワセられて引っこ抜けず。スナッグレスネコリグでフッキングしてもすっぽ抜けちゃうっていう人の多くは、使っているロッドが柔らかいかアワセが弱い。ストレートフックのテキサスリグみたいなものなので、強いタックルでしっかりアワセることでむしろ掛かりはよくなる。詳しくは、近日公開予定のO.S.P動画「Worming Tips File〜ドライブクローラー編〜」をご覧ください!」



ロッドやラインのタックルバランスと確実なフッキングで、フックにしっかり力を伝えてやる。これができればすっぽ抜けすることなく、しかも深く掛かってバシを防げる。ぜひ、実践してほしい

カラーはいつもよく言う4系統があればOK



Item O.S.Pジグ03ハンツ

デカバス捕獲率が飛躍する強カタグ。

琵琶湖の夏の終わりに、初秋にかけて自分の中での毎年の定番のアイテムが「O.S.P JIG ZERO THREE HUNTS(以下、ハンツ)」です。このハンツにドライブクロー3インチを組み合わせたコンビほど、デカバス率がグッと上がるアイテムはなかなか見当たりません。この組み合わせは最適なコンパクト感で、タフなビッグバスも一撃で殴り込んでくれるサイズです。にも関わらず、アピル力は抜群。またフックもデカバスに負けない強靭さを誇り、掛けたあとも安心してやり取りができます。狙うシチュエーションは濃渚の中でとくに8m以深のディープが隣接し、より深くまでウィードが存在している穴がベターです。こういうシチュエーションでウィードがたっぷり生えているところから、完全になくなるところに入るそのちょうど間にあたるわずかに生え残っているハードボトム上で転がっていくイメージです。決して大きく跳ねさせたり、動かすのではなく、「ズル引きに近いボトムパン」で狙います。ハンツのカラーはグリーンパンクキムブルーフレック(S-12)が、水質やレンジを選ばずオールマイティで実績があります。またウィードの種類やスタック感によってウエイトを変え、ガードをカスタムして使います。基本は9gと11g。風が強い、およびレンジが深いような場合には14gを使用することも。ガードは少し広げて使用するのがポイントですが、ウィードがさほど引つ掛からず、ジグにまわりついてこないような場合には、完全に抜いてしまうのもあります。これからのシーズン、まさにデカバス率を一気に上げてくれるコンビです!!



Item ドライブシャッド

ロールさせないスロースピードがキモ。

豊ヶ浦でこの時期のキーはなんと言っても横の動きの一定スピード。そしてある程度のボリュームだと私は思っています。なのでハイビッチャーやブレードジグなどの巻きの釣りがよく効きます。それらのO.S.Pルアーをローテーションして行く中で、ハイアピールやリアクションが効かないときにどうするか？

そこで最も食わせに特化し、切り札となるのがドライブシャッドです。なので10月に最も効果的なルアーは？ と聞かれれば、ドライブシャッドの4.5インチとなります。このルアーを使うにあたりキモがあるのですが、それは「ボディをロールさせないくらいにゆっくり引いて来る」ということです。ノーシンカーで速く引くと、けっこうロールしながらラインもピンと張った感じになりますが、それだと何かかバスの反応はイマイチ…。ですからノーシンカーで使う場合はロールしないゆっくりさで、ラインもたるませ気味に引くのがベストです。あと、アシ際などでは、際に落としたり、フリーフォールでテールを揺らしながら落ちていくのも本当に効きますね！さらに、ジグのトレーラーにしてもよく釣れます。この釣りを



このコーナーでは、O.S.Pが誇るプロスタッフ陣が自身のホームレイクのシーズンパターンをもとにこの時期に欠かせないアイテムとその使い方を解説。ぜひ参考にしてほしい。

10月のビッグレイクに不可欠なO.S.Pルアー

ってからというものの、ターンオーバー期のみんなが釣れないと言っている時期に安定してグッドサイズが釣れることが多くなりました。もともとこの時期が苦手だった自分にとって、このルアーは本当に救世主的なルアーです。カラーはハニーフラッシュかピンクレディをおすすめします。人間から見ることが最も重要ですが、白やチャートだと強過ぎると感じるときに本当によく効くので、ぜひお試しください!



お盆やお彼岸でのお墓参りと親戚縁者へのご挨拶...

ウチは結婚してかれこれ18年。釣りばかりの私が今さらカミさんにゴマを擦っても手遅れです。ここは諦めております(笑)。そこでおすすめめというか、「こうやる」といいますよ。的なのことをぜひ。ぜひ妻のおられる方はご家族で、お盆やお彼岸、正月休みなどにお墓参りに行ってください。ご自分の実家はもちろんのこと、奥様方のご先祖様にも手を合わせ、奥様の親や兄弟、親戚縁者に子供を連れてご挨拶。当たり前と言えば当たり前のことなのですが、そこで魚釣りの話で盛り上がったりはばなおよいです!!

奥様の理解は得られずとも、ご両親や親戚を味方につければ心強いものです(少々ケスな感じですが...)。というところで今回のコチラの記事、ウチのカミさん方の親戚の目に留まらなことを祈りつつ、釣りに行って参ります...

あなたなら、どうする? どうしてる? 全国のお父さん、お母さん。釣りに行きたくても、自由に行くことができませんよね。それは釣り業界人として同じ。だから釣りに行く前には必ず、こんなことをしているのです...

釣りに行くためのOOO

O.S.Pプロスタッフ 富村貴明さんの場合

女性アングラーは別として、そもそも男なら狩猟本能がある訳でしょ? 太古から狩に出かけ獲物を追い家族のもとへ持ち帰る。それこそが鵜の精神! 狩の上手い、つまり釣りが上手い男ほど家族に尊敬され女性にモテるに決まっている! だから釣りに行きたいときに行くのだよ!! と、自宅トイレの便座に腰を掛けいるいろと妄想し、独りブツブツ言うのが至福のひとつかな私であります...

PRESENT!

event@o-s-p.net

O.S.Pジグ03ハンツ・ストロング9gにドライブシャッド3.5インチをセットで2名に!!

応募方法_希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。



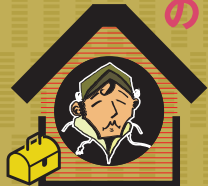
- ①_このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- ②_このパンフレットの率直な感想
- ③_このパンフレットに求める情報
- ④_釣り歴とホームグラウンド
- ⑤_O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2016年10月31日(月)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について_ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

オリコンの

匠の技!? 箔押しカラー



ここ数年、マイブームのプラグのカラーリング。効果があるかないかは突っ込まないでほしいところですが、ボクのモチベーションをマックスに押し上げてくれるのは事実。今回は銀箔の箔押しにチャレンジしました。部屋の気流でめくってしまうほど薄い銀箔で、専門の職人さんがいるのも領けてます。専用接着剤をうすく吹いてから、頃合いを見て銀箔を載せる。そして繊細に布で押し当てる。カラーリングし直し、ワカサギカラーの完成! もちろん金箔にもチャレンジしてますよ。でも、まだ内緒...



ヒミツの小屋

KEEP IT ON THE DOWN LOW

これは、ここだけの秘密
並木敏成が語るあのルアーの真実と
ということ

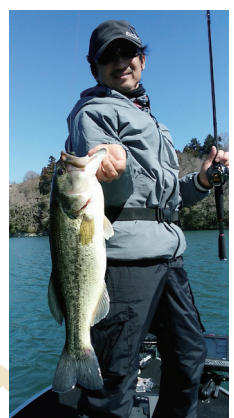
Theme O.S.Pジグ03ハンツ

このパンフレットを手にした、あなただけが知ることができるあのルアーの真実と、本当の使い方。

2009年の発売以来、支持され続けている 新機軸“セミフットボールタイプ”のジグ

O.S.Pでは現在、大きく分けてジグ01、03ハンツ、そして04シンクロと3タイプのラバージグを取り揃えている。その中から今回は、O.S.Pジグ03ハンツについてご紹介したいと思う。

ラバージグは通常、アーキータイプとフットボールタイプというようにヘッド形状で分類される。先端がとがったアーキータイプはすり抜けに優れ、カバー撃ちなどで多用される。フットボールタイプはその名のとおりフットボールのような形状をしたヘッドが特徴で、ボトムに置いたときに倒れにくいことやスミングさせやすいことなどから、オープンウォーターで使われることが多い。今回ご紹介する03ハンツは後者。つまりフットボールタイプに属すると



早春の相模湖。上流のシャローカバー撃ちで出た一匹は、03ハンツ9g+ドライブシャッド3.5インチの組み合わせによる47.5cm

言っていていいだろう。では、フットボールタイプのメリットから話を進めよう。まずは感度のよさ。ボトムをズル引くと、その凹凸が手に取るように感じられる。また一点での誘い能力にも長ける。ロッドをシェイクしたとき、なかなか手前に寄ってこないでフックが寝たり、起きたりを繰り返す。アーキータイプでこれを行うとスルスルと手前に寄ってきてしまうのだが、フットボールタイプではそうはならない。この違いはヘッドに設けられたアイの位置の違いによる。アーキータイプの多くはアイがヘッドの先端にあるが、フットボールタイプの多くはヘッドの中心にあるため、シェイクするところを支点にフックが寝る、起きるといった動きになる。つまり移動距離を抑えた一点の誘いが可能、というわけだ。

さらにフォーリングさせたとき、手前に寄ってきにくいというのもメリット。ラバージグに限らずテキサスリグでも、ラインを結ぶことで多少なりともカーブフォールしてしまう。アーキータイプになるとヘッドの下側が船底のようになっているため、余計に水を受けて手前にスライドする。これに対してフットボールタイプはヘッドの真ん中にアイがあることでフォール時の水流をうまく分断するため、まっすぐ真下にフォールするのだ。

では逆に、デメリットはというと、まずは根掛かりのしやすさが挙げられる。ヘッドに横幅があるためV字型になった木の枝に挟まりやすい。ウィードのカサやアオミドロなどを広いやすくもなる。また、岩とかゴロタに挟まりやすいと思われる方もいるかもしれないが、それは比較的少ない。むしろ狭い溝や隙間に挟まりやすいのはアーキータイプのほうで、もしフットボールタイプが挟まったとしてもハリが上を向き、起き上がるようにしてすると抜けることも多い。



17.5gや21gといったヘビーウェイトはディーブはもちろん、ドライブシュリンプ6インチのような抵抗の大きなトレーラーをセットすれば、シャローカバーを撃つことも可能になる

そして、バラシやすいというのもデメリットのひとつ。フットボールタイプは重いものを使われることが多く、バスが首を振ったとき、振り子のようにヘッドが振られてハリが外れる。またノーガードタイプも多く、これもまたバラシの原因となっている(ガードの先端がバスの身に刺さったり、ストッパーになることでジグがブラブラしにくくなる)。これらメリットをより伸ばし、デメリットを克服したフットボールタイプのラバージグこそ、O.S.Pジグ03ハンツなのだ。

誘い能力とスナッグレス性を両立した 超オールマイティなラバージグ

まず03ハンツの場合、アイが通常のフットボールタイプと比較して、より後方に設けられているため、アイより前方がボトムをしっかりとらえ、必然的に感度が上がる。またこの後方アイはフォール時に、一般的なフットボールタイプよりも一層、手前に寄ってくるのを抑えるだけでなく、誘い能力の向上にも一役買っている。ボトムでの一点シェイクでは移動距離をより抑え、ラインをカバーなどに持たせて中層で吊り下げたときは完全な水平姿勢をキープ。フックが常に上向きであるということは、これもまた必然的に、フッキング率のアップに貢献してくれる。

誘い能力でいうと、ラバーの存在も忘れてはならない。03ハンツ(ノーマルモデル)においてはシリコンラバーを採用(ファインモデルもあり)。クリアウォーターでは透明感のあるカラー、マッディウォーターではシルエットがはっきり出る色合いなど、多彩なバリエーションを揃えているだけでなく、ラバーの前方は短く、後ろ向きのラバーについては適度な長さを残しているため、速く巻いて使っても、ゆっくり引いても、シェイクでも、ボトムバンピングでも、どんなアクションにおいても生命感あふれるラバーの動きを実現。03ハンツストロングでは中太ロングラバーの採用によって、さらに幅広い状況に合わせられるようになっている。

ヘッド形状においては、横幅をやや抑えたことにより、すり抜け性能を上げつつ、カバーからピックアップする際には、フックポイントを上向きでキープする能力を確保。ハリが引っ掛かってしまう根掛かりが回避できるのも大きなメリットだ。さらにウエイトごとで本数を替えているブラシガードは、断面で見ると真円ではなく横方向に広い、いわば長方形で装着しているため、根掛かりの回避とバラシにくさを両立していることも、覚えておいてほしい。



中太ロングラバーを採用したO.S.Pジグ03ハンツストロング



横幅を抑えたヘッド形状はすり抜け性能のアップに貢献。またブラシガードは横方向に広く配しているため根掛かりの回避とバラシにくさを両立

どんな使い方にも高次元で対応する 03ハンツが生きるシーン

これら特徴を加味すると、あらゆるシーンで03ハンツが生きてくるのがおのずと見てくる。フットボールジグらしい使い方としてボトムのズル引き、バンピングはもちろん、スミングだってお手のもの。着底させてからゆっくり巻いてくる場合もあれば、狙っているレンジまでカウントダウンしてから巻きはじめでもいい。シャッドテール系ワームをセットして一定の速度で巻くだけで、バイトを得ることができるだろう。

あとはフォーリング。真下に落とせるというメリットは、急な岩盤や杭、橋脚などの垂直ストラクチャーを攻める際に出番。岩盤では一気にボトムまで落とすのではなく、途中にある棚(岩盤の凹凸)に03ハンツを乗せて誘い、反応がなければまた落とす、という攻めが、アーキータイプやテキサスリグ以上に効率的にできる。

それともうひとつ、意外にも03ハンツのうまみはカバー撃ちにある。アン



03ハンツストロング9gにドライブシャッド3.5インチは、適度なスピード感と、水深5mで使っても得られる感度のよさ、ボトム付近でメリハリのある動きを出せる最高の組み合わせだ

際、ウッドカバー、竹など、その種類は選ばず、オーバーハングの枝越しに入れて、水面や中層で宙づりで攻めるという使い方も、03ハンツが得意とするところ。アーキータイプやテキサスリグではピックアップ時にフックポイントが下方向に反転し、枝を抱え込むようにフッキングしてしまい引っ掛かってしまうようなカバーでも、恐れず果敢に打ち込んでみてほしい。これまでで得ることができなかったバイトを、手中に収められるはずだ。

また浮きゴミの下も03ハンツで攻めたい。ゴミを貫通してその直下や中層で長い時間シェイクしたり(このとき、水平姿勢をキープしてくれる)、ゆらゆらと動かして誘ってみるのもいい。フックは常に上にホールドさせられるゆえフッキングも抜群。これもぜひ試してみたい03ハンツの使い方だ。

並木式ウエイト別使い分け

03ハンツおよび03ハンツストロングには3.5~14gまで全6サイズ。ノーマルモデルの03ハンツにいたっては17.5gと21gといったヘビーウェイトも取り揃えている。またフックについて3.5gは1/0、5~11gは2/0、14gは3/0、17.5gと21gは4/0と、それぞれサイズを変えていることも頭に入れて、どういった使い分けをしているのかについて、解説していこうと思う。

3.5gについてはシルエットのわりにフックは強くガードもしっかりしているため、カバーに撃ち込める強いスモラバとして使うことも多い。ベイトタックルでは14lbのフロロ、スピニングではPEの

1.5~2号のパワースピンがベスト。トレーラーはHPシャッドテールの2.5inおよび3.1in、ドライブクロウ2in、そしてドライブシュリンプ3in、4inなど。オープンウォーターではブラシガードを少し減らす、もしくは下方向に倒してノリ重視で使っている。

5gはマッディシャローレイクのアシ際や浅いところでの杭撃ちなどで投入。このときドライブクロウ3inやドライブホッグ2.5inをトレーラーにセットしている。

7gと9gについてはシャローからミドルレンジのスミング、およびカバー撃ち。スミングではドライブシャッド3.5in、カバー内での誘いではドライブクロウ3in、4inもしくはドライブシュリンプ4.8inをチョイス。フォールスピードを上げたいときはドライブシュリンプ4in。細身のシェイプでカバーを撃ちたいときも、このセッティングで使っている。



台風一過の相模湖は増水&激濁り。そんな状況を打開してくれたのは03ハンツストロングのブラック。シルエットがはっきり出るルアーおよびカラーチョイスでグッドサイズを量産した

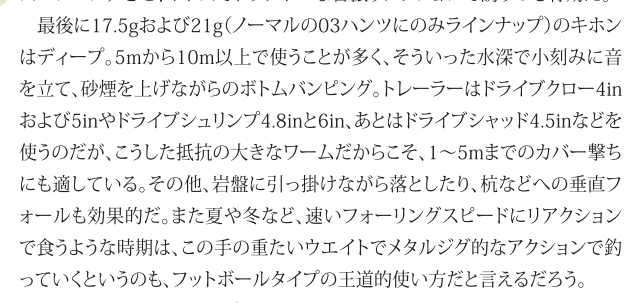


特に03ハンツストロングの場合、ラバーの抵抗がよりあるためフォールスピードは控えめ。中でも9gではアシ際から水深4~5mにあるレイダウンまで釣ることがある。そのとき、03ハンツストロング9gにドライブシャッド3.5inの組み合わせが自分の中でひとつの目安になっている。重いと根掛かりが増え、軽いとノー感じになる。しかしこのウエイトがあれば4~5mに沈んでいる岩や木の枝などを感じ取ることができ、メリハリのある動きをボトム付近で出すことも可能。もちろん、実績も高い。そして11gと14gは開けた岩盤やミドルディーブ、あとは

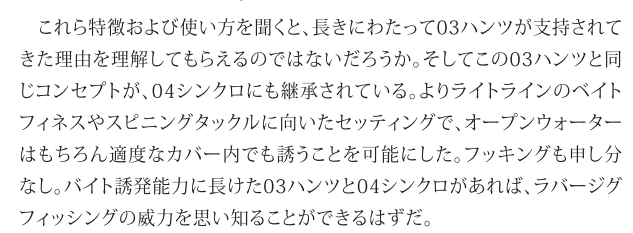
浮きゴミやごちゃごちゃしてある程度ウエイトがないと入れ込めないカバーなどで多用



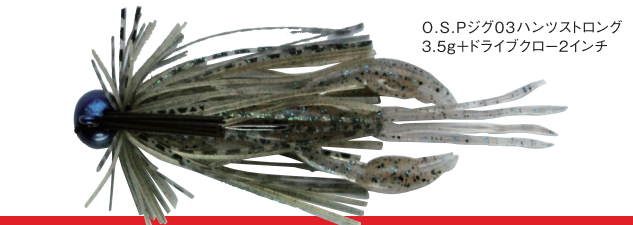
O.S.Pジグ03ハンツストロング9g+ドライブシャッド3.5インチ



O.S.Pジグ03ハンツ21g+ドライブシュリンプ6インチ



O.S.Pジグ03ハンツストロング3.5g+ドライブクロウ2インチ



Field Guide

四国、いや日本随一といっても過言ではない、リバーバスフィールド。水門の開閉によって水位が変わるため、これを見越した戦略を構築することが攻略への第一歩。ローカルルールについてはこちらのサイトで、釣行前に必ず確認を! →<http://jjibox.webcrow.jp/localrules.pdf>

案内人はこの人

浦川正則

時間があれば必ずフィールドに出るという、旧吉野川水系のスペシャリスト。スイムベイトを中心としたストロングな釣りから、サイトフィッシングやフィネスといった繊細な釣りで、幅広いスタイルでまわりの度肝を抜く釣果を叩き出す。転動先の北海道ではロックフィッシュのスピナーベイトおよびブレッドジグゲームを開拓した



7 板野高校裏

ほぼ直角にベントしているアウトサイドの流れが最も当たるスポット。デカバスの実績も高い。橋の上流側にはインレットもあるため、チェックしてみよう。ここにバスがさしていることもあるので、近づく際は慎重に。橋脚、およびその周辺のアシ島が狙い目だ



浦川正則が3つのルアーで旧吉野川のカバーを攻略する動画はこちら。徹底的にカバーを攻めて2ヶタ釣果を記録。見応え抜群! ぜひ、ご覧いただきたい

※これより先、ボートの進入禁止

8 最上流プール

ローカルルールによって釣りが認められている上限がここ。シーズンを通してサカナをストックしており、カレントがあることやウィードの存在、ベイトの豊富さなどを鑑みるとなづける。バンク沿いを丁寧に狙っていく。除草されていればエントリーできる場所はいくつかある。ローカルルールでは、ここまでがボートの進入が認められている上限



9 県道1号線下

メインチャンネルがバンクに寄っているエリア。浅い側にいたバスがこのチャンネルに集まってくる。橋脚に身を寄せ、そばを通るベイトフィッシュを待っていることが多い。流れが利きすぎているときは、それを嫌ってこのヨレに集まることも。バスが見えればサイトフィッシング、いなければスイムベイトやアラバマリグなどのダイナミックな釣りで攻めてみよう。デカくて天才系が多いのも、このエリアの特徴



6 ひのき橋

橋脚まわりがおすすめのスポットで、下流側は瀬になっており、落ちアユをここで捕食するデカバスも多い。昨年の同時期、ドライブシャッドで非常に実績が高かったエリアだ。橋の上手にあるプールは流れがあるときに反転流が生じ、バスも入ってくるという。わずかに残ったウィードを丹念に探ってみるといいだろう

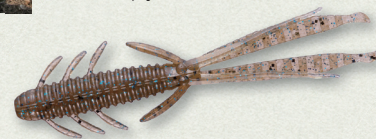


旧吉野川のシズナルパターン 10月はシャローで巻いて釣れる!!

10月ともなると、水温は20℃前半まで下がり、バスにとっては適水温に使いこもあって、ルアーを活発に追ってくる。巻き物の釣りや、ヘビダンなどをストンと落とす縦の速い釣りが主流になってくる。

バスが快適に過ごせる水温になると、カバーに固執する必要もなくなるため、メインチャンネルに隣接するシャローなどでベイトフィッシュを果敢に追う。誤解しないでもらいたいのは、バスはカバーから離れる傾向にあるものの、一級のスポンには確実にいるということ。変化に乏しいバンクの中で張り出したカバーや、水深に変化があるなど、何かしらバスが好む要素が複合しているカバーについては、狙ってみる価値はある。

ベイトについては落ちアユがメイン。秋が深まるにつれてこの傾向は顕著に表れ、浦川のフェイスリットでもあるドライブシャッドはこの時期、絶対に忘れてはならないアイテムであることもお伝えしておこう。



10 川端橋

瀬状になっていて非常に浅い。古い橋脚のようなものが沈んでいるところにも注目。秋は下流側、反転流が生じるところが掘れて深くなっており、バスが溜まる



〈旧吉野川おすすめルアー①〉 ドライブシュリンプ (ダウンショット)

消波ブロックの穴撃ちで使用。ロッドを瞬発的にあおって跳ね上げるアクションで、水をはたか。このリアクションで口を使わせる。またダウンショットは消波ブロックの穴撃ちの際、シンカーがブロックに当たりながら落ちていく。この音で気づかせて、シュリンプの動きで食わせるイメージでも使う。シンカーは3.5g



15 樋殿谷川

こちら旧吉野川につながる水路。道路を挟んで反対側の、田や畑の水路へとつながっている。基本的にはシェード側の護岸、および水路内のウィードを狙う。最奥の水門およびそのゴミ溜まりも忘れずチェック。流れによって護岸の壁もどちらを狙うべきなのかを、見極めることも大切だ

5 藍住大橋下流インレット

川幅がやや膨らんでワンド状になっており、大きな反転流が当たる箇所に合流するインレット。このインレット内は水質があまりよくないため、実績はあまりない。狙い目はインレットの出口付近、および藍住大橋のやや上流側のバンク



14 第二大谷川バックウォーター

旧吉野川の支流。両サイドは護岸に囲まれている。本流の水位に関係なく、シーズンを通してバスがいる水路。水質がクリアならサイトフィッシングで狙おう



11 グラウンド前

リップラップの先端で4mぐらいいまで一気に落ちる。その張り出し部分を釣っていく。プレイクの傾斜に沿ってバックスライド系を滑り込ませていくのが浦川流。川幅が狭くなっていることも、このエリアの魅力



3 フジグラン裏

対岸の複合ショッピングモール・フジグランが目印。狙いどころは護岸の先にあるリップラップと水門。ウィードも昔に比べて減ったものの、バラバラとパッチ状に生えており、ここにバスがついていることも。まずは水門にバスがいないか慎重にチェック



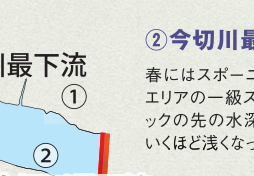
4 北島応神大橋上流アウトサイド

消波ブロックとリップラップを有するアウトサイドベンド。リップラップの先でプレイクになっており、水深が4mほどまで落ちる。北島応神大橋の橋脚の延長線上で3mぐらいに上がるため、筋状に深くなっていることがわかる。足元のカバーで回遊していることが多く、そういった個体は得てしてデカイ...



1 今切川最下流消波ブロック

春にはスポーニングエリアになる、最下流エリアの一級スポット。目視できる消波ブロックの先の水深で3.5~4m程度。下流にいくほど浅くなる



2 今切川最下流消波ブロック

インレットに差していた個体をサイトフィッシングでキャッチ。ラインをインレットに覆いかぶさる草に引っ掛け、オリカネ虫を水面でチョンチョンと動かして誘い、バイトさせた。浦川の技が冴えた一匹

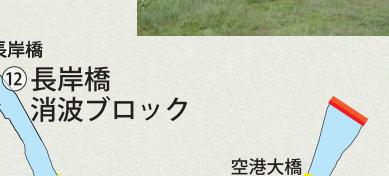


13 牛屋島大橋

橋のたもと両岸ともにブロックが入っており、スポーニング場にも越冬場にもなる。夏は縦スト(橋脚)につくため、ここもシーズンを通してバスをストック。落ちアユが絡んでくるといいサイズが固まるため、一日のプランにぜひ組み込んでほしい。デカバスの実績も高く、このエリア内の橋脚、消波ブロック、そしてシェードをグルグル回遊していると考えられている

12 長岸橋消波ブロック

濁っていても水位によっては消波ブロックの頭がうっすら見える。これをもとに穴撃ちがここでの定番。足元から4~5m沖までブロックが配置されており、流れが当たるベントの先端でもあるため実績は高い。意外と見落としがちな友打樋門(下流側)もバスがいる確率は高い



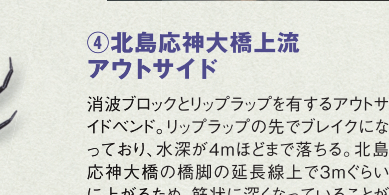
1 今切川最下流

取水塔のあたりで水深4mぐらい。そこからリップラップに向かって2mほどまで上がってくる。またワンド状になっている地形では反転流が起きるのも狙いどころ。水門の開閉によって水通しがよく、取水塔にバスが浮いていることもあるので注意



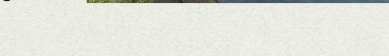
2 今切川最下流消波ブロック

春にはスポーニングエリアになる、最下流エリアの一級スポット。目視できる消波ブロックの先の水深で3.5~4m程度。下流にいくほど浅くなる



4 北島応神大橋上流アウトサイド

消波ブロックとリップラップを有するアウトサイドベンド。リップラップの先でプレイクになっており、水深が4mほどまで落ちる。北島応神大橋の橋脚の延長線上で3mぐらいに上がるため、筋状に深くなっていることがわかる。足元のカバーで回遊していることが多く、そういった個体は得てしてデカイ...



〈旧吉野川おすすめルアー②〉 オリカネ虫

徳島の名産でもあるレンコンの収穫が終わると畑が掘り起こされ、ザリガニやツチガエルが川に流される。このツチガエルを待っているバスも多く、マッチザベイトで使うのがオリカネ虫だ。またサイトでも非常に効果的で、これで数々の見えバスを仕留めてきた

